東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第7124号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２Ｆ
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙
購読ご希望の方はお気軽にお電話下さい

八尾発祥の大阪名物 たこパティエ

株式会社 飄月堂

洋菓子作りで培った技術と感性

「たこパティエ」は新大阪駅や伊丹空港ではすっかり人気の大阪土産となり、出張族にはよく知られる洋菓子だ。しかし、その〝発祥〟が八尾であることはあまり知られていない。「大阪プチバナナ」を作っていた会社と聞けば、ピンとくる読者がいるかもしれない。

八尾市に本社を構える株式会社飄月堂だ。

岡田博美社長（68）と岡田美佐代専務（63）に話を聞いた。

屋号は祖父である創業者が昭和11年に瓢箪山稲荷神社（東大阪市瓢箪山町8―1）から授かった。最中づくりから始めた同社は、昭和43年のヒット商品「ディスカ」を機に洋菓子へ舵を切り、〝洋菓子〟を看板にして歩んできた。その流れで、平成10年には洋菓子店「パティシエオカダ」を同社の隣に開く。

洋菓子作りで培った技術と感性が「たこパティエ」誕生の土台となる。

「単なる土産物ではなく、〝洋菓子〟を提供したい」

岡田社長と岡田専務が口をそろえて語るのは、質への徹底したこだわりだ。「たこパティエ」は、選りすぐりの材料を使用。「あおさ」ではなく「青のり」だけを使い、しかも最高級ランクのものを厳選。たこ粉、かつお、マヨネーズの旨味をバランスよく配合し、洋菓子としての上品さを損なわないよう考え尽くされている。

難しいのがパイづくり。気温・湿度で仕上がりが変わるため、毎日詳細な記録を取り、最適条件を蓄積。層の美しさと軽やかな食感を安定させている。

発売当初、パッケージはビジネスマン向けに「黒」を基調としたが、思ったようには受けなかった。そこで、思い切って派手な「オレンジ色」に。すると、一気に人気が出た。

来年、「たこパティエ」は誕生15周年を迎える。

「大阪名物といえば『たこパティエ』と言われるようにしたい」

そんな熱い思いを胸に、岡田社長、岡田専務は陣頭指揮に当たり、味と品質を守り続けている。（根岸健太郎）

たこパティエを前に、岡田博美社長（左）と岡田美佐代専務

株式会社飄月堂
社長　岡田博美
八尾市八尾木北2-16
TEL 072-993-2235

てつ・くず・しごとミュージアム オープン

大阪故鉄株式会社諸福営業所内に

「てつ・くず・しごとミュージアム」が10月26日に大東市にオープンし、子どもたちの間で人気スポットとなっている。

入ると、子どもたちがワクワクするような仕掛けがいっぱい。大人である記者も心が躍った。暖色の壁にかわいいイラストとともにさまざまな〝鉄〟が散りばめられている。照明も柔らかく心地いい。

クイズを解きながらミュージアムを回る。

「地球は表面の70％が水でおおわれているから『水の星』って呼ばれているけど、地球の中身まで含めると、いちばん多いのは水じゃないんだ。中身もぜんぶ含めたとき、地球にいちばん多い物質はなんだと思う？」

子どもたちは首をかしげながら、思い思いの答えを言う。

矢追大祐社長（45）＝写真＝が「正解は鉄」と発表すると、子どもたちは驚きの声を上げた。

同ミュージアムは大阪故鉄株式会社の諸福営業所内（大東市諸福7―4―38）にある。1946年創業の同社は来年80周年を迎える。そこで、地域の人に喜んでもらうプロジェクトを考えたとき、社員のなかから「ミュージアムを作りましょう」という意見が出た。これはいいアイデアだと矢追社長はすぐに取り掛かり、実現した。

同時にアーティストを募り、工場の外壁に大きな絵を施した。美女2人の横顔が未来と過去を見つめるなか、平和・幸福の象徴である鳩が飛び立とうとしている絵だ。前を通る人の目を引く。

鉄スクラップを専門に取り扱う金属リサイクル企業である同社の試みは、地域の人を喜ばせることにとどまらず、日本の未来や環境問題を考える重要なスポットにもなるだろう。

同ミュージアムの開館日時は平日10時～15時。要予約。問い合わせは☎072―874―9861へ。

来場予約 QR

おかげさまで90年

東大阪新聞は令和4年に創刊90年を迎えました

風を読む 82

2025年 世界の動き

大阪商業大学総合経営学部教授
経済学博士　中津孝司

誕生日祝いを大切にする米国人。一方で、日本人は地元の祭りで盛り上がる。誕生日という個人のイベントを重要視する個人主義の国民性。祭りという集団の催しを楽しむ集団主義の国民性。国民性の違いを如実に物語っている。

大阪外国語大学時代、キャンパス内に留学生の寮が設置されていたこともあって、毎日、多数の留学生と接した。留学生との会話は自らの研鑽（けんさん）にもなった。

大学院時代にはバルカン半島の小国・コソボ共和国にあるプリシュティーナ大学に留学した。コソボで使用されているアルバニア語を修得し、「アルバニア語入門」という著書を刊行するための留学だった。

アルバニア系住民のお宅でホームステイしながら通学した。その家族とのアルバニア語での日常会話は貴重な学びだった。時には「梅干しが欲しい」「お茶漬けを食べたい」と思ったこともあった。しかし、気持ちを切り替えて、現地の食文化を楽しむようにした。食生活も含めて、できるだけ現地に適応することを心がけた。

冬休みなどの長期休暇を活用して、欧州各地まで足を延ばした。

日本への理解促す努力

プリシュティーナからセルビアのベオグラード、クロアチアのザグレブ、スロベニアのリュブリアナ、イタリアのトリエステ、ベネチア、ミラノ、スイスのチューリッヒ、オーストリアのウィーン、ハンガリーのブダペストなどを周遊した。

ネットやスマホのない時代。ホテルは現地で探した。今思えば不安だが、若かったこともあり怖くはなかった。それよりも欧州各国・各地での出会いや見聞は貴重な体験だった。異文化と接触することで視野は広がった。

大学で職を得てからは米国やカナダで研究人観光客によるオーバーツーリズムが社会問題化している。観光地ではゴミが路上に捨てられ、落書きも目立つ。大阪メトロ堺筋線沿いには、いわゆる民泊が集中する。周辺住民からの苦情が相次いでいる。大阪の台所、黒門市場は外国人観光客で埋め尽くされ、地元の住民は黒門で買い物しなくなった。

日本人が神聖なる空間として大事にしてきた神社や寺院を外国人観光客が遊技場としてしまった。日本人は他人に迷惑をかけることを一番に嫌う。小学生でさえも公共の場では静かに過ごしている。騒いでいるのは外国人観光客である。日本人は観光名所に出向かなくなった。

学生時代から国際理解に努めてきたつもりである。だが現在、限度を超えてしまったのではないか。日本の慣習や歴史を外国に積極発信して、個人よりも集団を優先する日本への理解を促す努力が欠かせない。

報告するようになった。研究費を調達して、コソボの隣国・アルバニアで現地調査をしたこともある。いわば自らの内なる国際化である。

ゼミ生とともにアジアや欧州の国々を巡った。ゼミ生に世界を知ってほしかったからである。コロナ禍で繋がっている卒業生がスペインとポルトガルを訪れたときの日程表をアップしてくれた。卒業後、20年以上も経過しているにもかかわらず、大切に保管していることに驚いた。卒業生には良き思い出になったと思う。

今、我が国では外国人観光客によるオーバーツーリズムが社会問題化している。観光地ではゴミが路上に捨てられ、落書きも目立つ。大阪メトロ堺筋線沿いには、いわゆる民泊が集中する。周辺住民からの苦情が相次いでいる。大阪の台所、黒門市場は外国人観光客で埋め尽くされ、地元の住民は黒門で買い物しなくなった。

日本人が神聖なる空間として大事にしてきた神社や寺院を外国人観光客が遊技場としてしまった。日本人は他人に迷惑をかけることを一番に嫌う。小学生でさえも公共の場では静かに過ごしている。騒いでいるのは外国人観光客である。日本人は観光名所に出向かなくなった。

学生時代から国際理解に努めてきたつもりである。だが現在、限度を超えてしまったのではないか。日本の慣習や歴史を外国に積極発信して、個人よりも集団を優先する日本への理解を促す努力が欠かせない。

枚岡神社でお笑い神事

12月23日

枚岡神社（東大阪市出雲井町7―16）では、毎年恒例の注連掛神事「お笑い神事」が12月23日午前10時より執り行われる。

この神事は、天の岩戸開き神話にならい、感謝と祈りを込めて大いに笑うことで、明るい1年を迎えることを願って行われるもの。中東弘宮司（84）＝写真中央＝と一般参拝者が一緒に、「笑福守」の札を掲げ、約20分間にわたって笑い続ける。参加者が手にする札に福が宿るとされており、笑福守は神事の必携品。毎年デザインが変わる御札も人気を集めている。

当日は個性的な仮装やパフォーマンスを楽しむ人びとで境内がにぎわい、笑い声と活気に包まれる。

夕方5時からは、雰囲気を一変させた神秘的な「夜の部」が始まる。天照大神が岩戸に隠れた際、天児屋根命の祈りや天宇受売命の舞、そして神々の笑いによって岩戸が開かれた「天の岩戸開き」の神話を、歌や太鼓、踊りなどで幻想的に表現。

ライトアップされた境内に現れる神々の姿は圧巻で、冷え込む時間帯にもかかわらず、多くの参拝者が訪れる人気の神事だ。ゆったり観賞できる座席も用意されている。

日中から夜にかけては、お笑いコンテストをはじめ、さまざまな芸能イベントも開催され、近隣店舗やモンゴル屋台など多数の飲食ブースが並ぶ。食べ歩きや芸能鑑賞を楽しみながら、1日中境内で過ごせる盛りだくさんの内容だ。

神事に参加する際に必要となる「笑福守」は、境内入口において1000円で授与される。（渡辺彩智子）

新井クリニック 新井幸吉前院長に 元気で長生きの秘訣聞く

83歳にして元気凛々（りんりん）、現役で患者を診ている新井クリニック（八尾市美園町4―109―3）の新井幸吉前院長（写真）。元気で長生きの秘訣を聞いた。

答えは明快。炎症、糖化、酸化を避けることだ。

炎症＝風邪を引かないよう、虫歯にならないよう気を付けている。

糖化＝糖分摂取に気を付け、腹八分に。食事は30分かけて。

酸化＝アルコールは少量に。色付きの野菜を食べる。

健康に気を付けるようになったのは父親の影響が大きい。50歳という若さで肺ガンを患い亡くなる。病弱な父親の姿を見ながら、困っている人を1人でも救いたいと医師を志す。しかし、現実は厳しかった。

母子家庭になった新井家。母親は女手一つで5人の子どもを育てなければならない。そんななかでも、新井青年は志を貫き奈良県立医科大学へ進む。裕福な同級生を尻目に勉学とアルバイトの毎日だった。大学卒業後、整形外科に勤めて資金を貯め、昭和51年に開院した。

来年で開院50年を迎える。自らも大腸ガンを乗り越え、胸にステント6本を入れながら、笑顔で患者を診つづける。その瞳は青年のように輝いている。

晴耕雨読

米も綱もうまく運ぶ

「秋は夕暮れ」。なんといっても「夕日が赤々と射して、今にも山の稜線に沈もうというころ」の視界に雁がV字になって飛んで「ゆくのを見るとなかなかおもしろい」と清少納言は「枕草子」で書いている。そんな秋を愛でる間もなくいきなり日本海側や北海道は大雪に見舞われ、いつもより早い冬の到来だ。

「さわやかな」や「おもしろい」「いとおかし」などは季節の移り変わりの妙をうまく表現する日本独特の言葉。デジタル化と異常気象で微妙な美しい風景が消えてゆきはしないだろうか。

師走を迎え「令和の米騒動」は〝騒音計〟のレベルを上げている。そして若き官僚出身の大臣は先発投手として「お米券」を携えて登板したが不人気。抜本的な農業政策の転換までに踏み込まないでいるのはなぜか。コメは戦略的物資だ。「国有米」で、生産者（特別国家公務員）と生産面積・生産量、生産価格と販売価格、備蓄量などを一元管理するのも食料安全保障面および国土保全面から論議する価値はあるだろう。

戦下のウクライナ国民に励ましとなったのが大相撲九州場所で初優勝した関脇安青錦（21）である。令和4年、18歳のとき、大相撲に入りたくて来日。来年1月11日初日、両国国技館で大関昇進式が行われる。再び賜杯を掲げる姿を見たいものだ。人柄のよさと礼儀正しいことから圧倒的な人気者である。嬉しいことに、フランスで安青錦が映画化（「夢は永遠に生き続ける」）され、2027年フランス全土で公開されるという。来年6月13日・14日にフランス・パリで31年ぶりに大相撲パリ公演が予定されている。

2026年はエネルギーが結集するといわれる丙午（ひのえうま）、米も綱もうまく運ぶだろう。

2025・12・15

アクリル加工で創業74年
小ロットもお引き受けします
共栄化学工業 株式会社
〒581-0812 八尾市山賀町 4-63
TEL 072-922-1681　FAX 072-923-4879

お蔭様で50周年
総合建設業・一級建築士事務所
日和建設株式会社
八尾市安中町 8－5－38
TEL 072－999－3871
FAX 072－999－3874

株式会社 カナオカ機材
代表取締役社長　七里和昭
〒577-0033 東大阪市御厨東二―十―一
電話（〇六）六七八七―一四四〇

優しい気持ちになれるお家を、あなたに
株式会社 みつや建設
✓資金計画から建築まで安心して任せられる工務店
✓不動産の購入から、リフォーム・新築までワンストップ
〒578-0984
東大阪市菱江１丁目27番１号１階
TEL 072-920-4880

FLIARD GOLF STUDIO
ゴルフシミュレーションスタジオ
フリアード　室内ゴルフ練習場
◆365日利用可能（午前5時～午後12時）
◆ハリウッド映画のクオリティ映像
◆世界170以上の有名ゴルフコース
◆予約・決済・施錠までスマホ1台で完結
株式会社藤原電子工業ゴルフ事業部
八尾市南木ノ本2―52
TEL 072-991-3927

明るい・楽しい・アットホームな教習所
運転免許取るならYAOKYOで！
八尾自動車教習所
八尾市高安町南七丁目二十一番地
☎(072)999―1234
HP：http://www.yaokyo.net/

住まい造りに奉仕する
株式会社 八栄（ヤサカ）ハウジング
代表取締役　神丸豊
（一般社団法人八尾市住宅開発協議会代表理事）
八尾市桜ヶ丘２―65
TEL 072―923―6445
FAX 072―923―6446

東大阪は ラグビーの聖地
八尾は米粉（こめこ）の聖地

愛犬には、エサより「食事」を。
―私たちは、愛犬に食事の価値を提供します―
PURSUIT OF LOVE

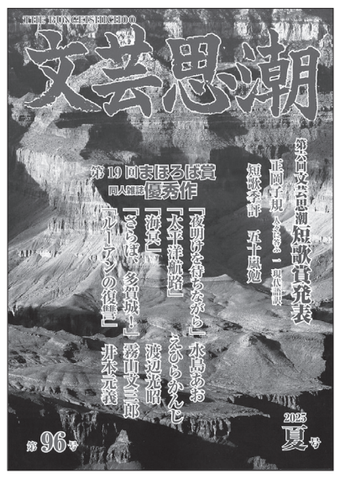
社史出版のお手伝い
生きた証を一冊の本に
― 本は著者の分身 ―
永続する会社には社史がある
地元八尾の出版社だからこそできるきめ細かな本作り
著者と編集者が二人三脚で本作り
株式会社 ドニエプル出版
TEL.072-926-5134
〒581-0013 八尾市山本町南6-2-29　FAX.072-921-6893
ドニエプル出版　検索

ウクライナ支援ウィーク 2025
12／27（土）～12／29（月）10：30～16：00
会　場　近鉄文化サロン上本町
大阪市天王寺区上本町 6-1-55（近鉄百貨店上本町店 10 階）
参加費　無料
ロシアによるウクライナ全面侵攻から4年が経とうとしています。世界の関心が薄れつつありますが、今こそ支援が必要です。そこで12月27日（土）～29日（月）に「ウクライナ支援ウィーク」を開催します。ウクライナの絵画、民族衣装、雑貨などを通してウクライナを知っていただきたいと思います。講演会も開催します。ぜひお聞きください。
講演会情報
■日本ウクライナ関係の深化
■12/27（土）13:30~15:30
■日本ウクライナ文化交流協会
ウクライナ語担当部長　河津雅人
■ウクライナ現地の今
■12/28（日）13:30~15:30
■NGO ウクライナに平和を生駒
代表　星野智
■ウクライナ避難民の現状
■12/29（月）13:30~15:30
■一般社団法人 関西ウクライナ友好協会
代表理事　カトウ・カテリーナ
主催：日本ウクライナ文化交流協会　八尾市山本町南 6-2-29　TEL 072-926-5134　FAX 072-921-6893

新刊案内

文芸思潮 2025年夏号（第96号）

アジア文化社　定価1、430円（税込み）



さまざまなジャンル」と届く。著者に敬意を「貴紙の書評は素晴らの新刊本が次から次へ」示しながら、多くの読しいので、うちの新刊者に読まれるようにと、手抜きなしに紹介文を書いている。

こんなスタイルでいいのかと自己嫌悪におちいるときに限って

について書いてください」とメールが送られてくる。

「それでは」と執筆モードにスイッチオンだ。

「とても丁寧に読み込んでくださった」「しっかり読んでくださって、熱量ある紹介記事を書いてくださり、本当にありがとうございました」などのメッセージをいただくと、ランナーズハイならぬライターズハイの満足感に浸るから懲りずに続けている。

そこに難しいジャンルである〝文学〟ものが届いた。日本文学に新たな風を吹き込み、文学愛好家による共創参加型のニューマガジンを目指すという文芸雑誌「文芸思潮　2025年夏号（第96号）」である。

第19回まほろば賞同人雑誌優秀作5編、第6回文芸思潮短歌賞、第19回文芸思潮エッセイ奨励賞10編、第20回文芸思潮現代詩賞奨励賞など力作が満載だ。

本書の新進ぶりとメンバーの気鋭ぶりが分かる。本書には2人の本紙関係者が登場している。

企業小説「負けてたまるか」、歴史小説「激突！　南北朝」（いずれもドニエプル出版）の著者霧山文三郎氏の「さらば、多賀城！」が「まほろば賞」優秀作に選ばれたのである。「陸奥の国司は何たる体たらくじゃ、頼みもしない戦を勝手に始めておきながら…」の書き出しは読み人を1050年代の奥州の争乱に誘う。

もうひとりは「文学館巡り」の森崎律子氏、「今東光資料館を訪ねて」である。

今東光の多彩な才能と華麗なる人間関係を横軸に、縦軸に天台院住職として赴任した河内の人間を郷土とともに情感豊かに描写した「小説河内風土記」（全6巻）をはじめ「お吟さま」（第36回直木賞受賞）等々を紹介する。

「今東光資料館」の企画展示はいつも見ごたえがある。今東光は「団塊の世代」前後たちを魅了したものだ。

その他、連載ドキュメンタリー連載「インド人に学ぶ」の「インド人の英語は上手か？」はインドの時代を前に秀逸な内容である。

本書には新しい文学に向けての濃密な志が充満している。各地の同人雑誌紹介の記事と写真から2005年に創刊された「文芸思潮」が見すえる文学界の景色が視界に入った。

本書を一言で紹介すると、季節柄おせち料理に例えて、「まほろば賞」という「伊勢海老」をドーンと真ん中に、「黒毛和牛」と「アワビ」と「カニ」を脇に固めた老舗料亭の豪華お重だ。

好きなときに好きなものから食べればいい。堪能する。

（石河亮平）

第202回CS元気活力塾

金岡重雄会長 米寿感謝祭
露の五郎師匠 襲名祝賀会

冷熱関連機器の専門商社として幅広い分野に展開する株式会社カナオカ機材（七里和昭社長、東大阪市御厨東2―10―1）の創業者で、11月19日に88歳の誕生日を迎えた金岡重雄会長の米寿感謝祭が、11月25日にホテルアウィーナ大阪（大阪市天王寺区石ケ辻町19―22）で開催された。この日は併せて金岡会長が主宰する「CS元気活力塾」の会員で、上方落語の大名跡を襲名した3代目露の五郎師匠（70）の祝賀会が行われ、参加した約120人が二重の慶事を祝った。

（三谷真一）

露の五郎師匠

金岡重雄会長

昭和12年（1937年）に〝武家発祥の地〟である兵庫県川西市で生まれた金岡会長は、長身痩軀の恵まれた体格と、溢れんばかりの義侠心で仲間たちに慕われ、中学生時代、弁当を忘れてきた友人のため自転車を飛ばして取りに行った際、勢い余って高台から転落し、家屋に突入するという大事故で生死の境を彷徨った。このときの臨死体験が「人は生きているのではない。生かされているのだ」という人生観につながり、高校卒業後に就職した冷熱機器販売会社を経て45歳で独立創業した。同社の理念である「一期一会・感謝・祈り合いの経営」に昇華結実している。

また、40年にわたり早朝4時より近隣の住宅街や、東大阪市を縦貫する第二寝屋川遊歩道の清掃に励み、般若心経1万貫を高野山へ納経。川西時代の講社まつりから続く天理教信仰では、明和大教会（奈良県桜井市254―1）直属・明西分教会長を務める妻・時子夫人を支える。ふたりの姿勢に感化された多くの人びとを、天理王命が教祖中山みきを通じて広宣した「陽気ぐらし」の担い手である〝よふぼく〟へと導いている。

この日の会場は、奇しくも62年前挙式した金岡会長は、頑固一徹な自身に耐え、手綱を捌いてきてくれた時子夫人への深謝とともに、ともに120歳の寿命まで、何事も素直・謙虚に、感謝を忘れず、無理な命令・言い付けはしないことを誓約した。

「時子への愛の誓い」に続き、10月に上方落語の大名跡を襲名した3代目露の五郎師匠が披露したのは、8代将軍徳川吉宗の世である享保年間から伝わる演目「時うどん」。

代金が足りないまま、1杯のかけうどんを食した兄弟が勘定する店主に「今なん時」と尋ねて誤魔化す模様を情感たっぷりに演じた後、團四郎時代からおなじみの柔軟な顔面を活かした百面相で七福神や動物に変化し、会場を大いに沸かせた。

次回203回は、新年1月27日正午より道頓堀ホテル（大阪市中央区道頓堀2―3―25）で、ニデック（旧日本電産）株式会社の大躍進を支えた野村順男氏を講師に迎え「夢・縁・努力・感動・感謝の85年を生きる」をテーマに開催する。問い合わせは同塾（☎06―6787―1440）へ。

笑う税理士 72

税理士　上西　知

精神革命が起きている

最近、私が個人的に感じていること―。

世界が劇的な大変革期に入っていることは間違いありませんが、同時に人類の精神革命も起きていると思います。

以前から宗教・哲学・思想的なことが好きな私は勉強を続けておりますが、それぞれのゴールが一致し始めているように感じるのです。

最近、霊的感性の高い人（シャーマン）が増えていると感じますし、生まれる前の記憶を持っている子どもたちも増えているように感じます。いったい何が起きているのかと考えますと、霊性の認識、進化が起きているように思っています。超能力の話をしますと変な目で見られますが、私は二十歳くらいから、人間は超能力を使えると信じていました。私が所属している倫理法人会の創設者・丸山敏雄先生の論文の中にも奇跡現象的な記載があります。変人のレッテルを貼られますが、宗教家や哲学者の書物を改めてひもといていきますと、心の状態が人生を創造しているようです。

また、その心の先に宇宙の真理とつながっていると…物質社会に汚染された私たちは分からなくなっていますが、今一度考える必要がありそうです。天才と言われたニコラ・テスラもそのような発言をしています。友人・知人と話していても、私もそのように感じて生活をしているという方が増えています。心を整えて生活すること、感謝の心をもって生活をすることで人生は拓けると思います。

交通事故被害者の〝無念〟と家族の〝苦悩〟―③

2年8カ月の実刑

2019年に起きた事故。運転していた男は未成年だったが、家庭裁判所は刑事処分が相当として、検察官送致、いわゆる「逆送」（事件が家庭裁判所から検察官に送り返されて刑事事件にかけられること）を決める。危険運転致傷罪で起訴され、まつりから続く天理教信仰では、明和大教会（奈良県桜井市254―1）直属・明西分教会長を務める妻・時子夫人を支える。ふたりの姿勢に感化された多くの人びとを、天理王命が教祖中山みきを通じて広宣した「陽気ぐらし」の担い手である〝よふぼく〟へと導いている。

この日の会場は、奇しくも62年前挙式した金岡会長は、頑固一徹な自身に耐え、手綱を捌いてきてくれた時子夫人への深謝とともに、ともに120歳の寿命まで、何事も素直・謙虚に、感謝を忘れず、無理な命令・言い付けはしないことを誓約した。

「時子への愛の誓い」に続き、10月に上方落語の大名跡を襲名した3代目露の五郎師匠が披露したのは、8代将軍徳川吉宗の世である享保年間から伝わる演目「時うどん」。

代金が足りないまま、1杯のかけうどんを食した兄弟が勘定する店主に「今なん時」と尋ねて誤魔化す模様を情感たっぷりに演じた後、團四郎時代からおなじみの柔軟な顔面を活かした百面相で七福神や動物に変化し、会場を大いに沸かせた。

次回203回は、新年1月27日正午より道頓堀ホテル（大阪市中央区道頓堀2―3―25）で、ニデック（旧日本電産）株式会社の大躍進を支えた野村順男氏を講師に迎え「夢・縁・努力・感動・感謝の85年を生きる」をテーマに開催する。問い合わせは同塾（☎06―6787―1440）へ。

2019年に起きた事故。運転していた男は未成年だったが、家庭裁判所は刑事処分が相当として、検察官送致、いわゆる「逆送」（事件が家庭裁判所から検察官に送り返されて刑事事件にかけられること）を決める。危険運転致傷罪で起訴され、まで介護する。費用はしっかり払う」など13項目からなる誓約書を作成。父と加害者本人は同意のうえ署名した。

「損害保険会社に保険金を支払ってもらうよう促す意味ではなく、加害者・被害者という関係性のなかで、責任感をもって今後償ってくださいよ、という意図がありました」

ところが、一筆書いた途端、その後は博さんの前に現れることはなくなった。約束を反故にされた。これだけにとどまらない。追い打ちをかけるように、今度は損害保険会社から、「このような一筆は無効」と主張された上で、「娘さんは余命10年だから、保険金の支払いはそれをもとに算出する」と伝えてきた。

まだちさとさんが意識も回復していないときだ。本来なら、任意保険に加入していた加害者が損害保険会社に対して、被害者の補償をしっかりやってほしいと詰めよるのが筋のはず。「現実は、加害者が保険会社に対してそのような意思表示が通常なされているのか、それとも損害保険会社が手練手管を使って加害者に言わせないようにしているのか、そのあたりのことはよく分かりませんけどね…」と博さんはため息をつく。

担当弁護士によると、交通事故事件では、いつもこのようなことが起こり、一筆がどれだけ有効なものになるかは疑問なのが実務だという。

確かに当事者間で話し合うことが余計に事を（感情的な面も含めて）こじらせることもあるかもしれない。たが、本来は被害者が見積もりを出し加害者に請求し、支払いを求めるべきものであろう。

だが、加害者は保険会社に任せる。すると保険会社は被害者に対して、ケガの写真や証拠の提出を要求してくる。できるだけ保険金の支払いを抑えるため、被害者の心を抉るような対応をしてくる。生野聴覚障がい者女児事故の被害者家族の井出さんの場合もまさにこれと同じ構図だった。

この当時、昏睡状態だったちさとさん。父としても気持ちが動転していた時期にもかかわらず、誓約書を作る冷静さを持ち合わせていた博さんに驚かされる。「いやあ、もう事故で涙は枯れ果てるほど泣いていたのですが、心無い言葉で動悸がし、また涙が出てきました」。被害者・被害者家族はなんども何度も泣かされる。

「加害者からの明確な謝罪もなく、誠意を見せる対応もない今、どう思われていますか」と率直に尋ねてみた。

「憤りはありますよ。でも気持ちをぶちまけてもね…。心のバランスをとるしかないですよね」と話す博さんの表情には諦観の念が。「娘が描いていた将来の夢が遅れてしまっていることが残念です…」。

（中野善典）

（つづく）

9 蘇我堅塩媛編 その二
磐井の乱

武列天皇が崩御された後、大伴連金村は大王（天皇）の後継者を求め、皇族を探し回った挙げ句に「応神天皇（品陀大王）5世の孫」と伝わる男大迹王を見つけて即位させた。それが第26代継体天皇であるとは前回述べた通りである。金村は大連となり、国政と国軍を握る第一人者となった。継体には妻がいて息子が2人いた。継体帝を応神帝五世の孫だと紹介したのは大伴金村で、男大迹王の素性はやはり謎と言うしかない。

継体陵を宮内庁は茨城市の太田茶臼山古墳を比定するが、今日では高槻市の今城塚古墳が真の継体陵だと言われるようになったことも既に述べた。後者の歴史館で私が見たのは継体帝が使用した鎧兜のレプリカである。実に特殊な物で大和の物でも百済の物でもない。

韓国の研究者に問い合わせると、どうやら伽耶の物のようだ。

であれば、2つのことが考えられる。つまり大和の建国者、倭人が元住んでいた伽耶諸国の王からの贈答品だという考え方。それが常識的だろう。もうひとつは男大迹王自身が伽耶諸国の王族だったのでは、という考え方だ。結論は出せないが、それを頭に入れながら今日のテーマである、筑紫国造磐井の乱に話を進めよう。

継体天皇陵副葬品の鎧兜のレプリカ（高槻市立今城塚古代歴史館）

継体帝の御代21年（527年）、福岡県八女市付近の豪族、筑紫国造磐井が新羅と結んで継体王朝に反乱を起こした。6世紀には伽耶諸国が新羅に侵され、国が消えてしまうのが時間の問題だった。それなのに、継体帝は歴史の流れに逆らい、負ける伽耶に味方して新羅を討とうとしたのである。同じ倭語を使い、1世紀に九州から大和に大挙して入って磐余君（神武帝、磐余は橿原市）を中心に、倭国を建国した人びとの故国だったからか。それとも別の理由があったのか、私は知らない。

この頃、倭国の外交は大伴金村の職務であり、伽耶を崩壊させぬようにするのが責務だった。相棒の蘇我稲目は専ら内政の責任者たらんとしていた。稲目は実は金村の外交策の失敗、伽耶の滅亡を待っていたのである。それに対し、早く伽耶を呑み込んで百済と対抗したい新羅は、倭国九州の豪族、磐井に盛んに賄賂を贈り、親新羅に手懐けようとしていた。

翌年（528年）、近江毛野が新羅征伐に軍を西に進めると、磐井は肥前・肥後・豊前・豊後を蜂起させ、官軍の進軍を妨害した。ために継体帝は大伴大連金村に命じ、物部麁鹿火に反乱の鎮圧に向かわせた。磐井と朝廷軍は久留米市御井で決戦となった。この戦いは規模から言って古代の関ケ原とも言われる。結果、磐井の大敗となった。

継体は磐井を破ったが、半島の伽耶は救うことができず、倭人の伽耶連合は南の金官伽耶国、北の大伽耶国の2国だけになった。その責めを負う金村は力がなくなり、代わりに台頭するのが渡来系の蘇我稲目であった。稲目には小姉君と堅塩媛という2人の娘が生まれていた。なかでも堅塩媛は渡来人の子孫らしく熱狂的な仏教の信者だった。

磐井の滅亡は何を意味するのか。このシリーズの第3回に、大和は一時九州から入った中国系の卑弥呼に政権を奪われたと書いた。倭人が北九州に倭奴国連合を創った前後に吉野ケ里や八女といった、昔の「大有明湾」沿いの拠点に、長江河口の河姆渡から稲作文化を持ち込んで上陸した人びとがいた。倭人・縄文人・大陸人・三つ巴の西暦200年前後に勃発した「百余国の大乱」（魏志倭人伝）を統一したのが、八女の邪馬壹国（邪馬台国は江戸時代の書き換え）であって、それが大和に入ったのではないかと私は論じた。であれば、6世紀にこの乱で滅んだ磐井の一族は、中国出身の邪馬壹国の子孫であったのではないか。磐井の生前墓の岩戸山古墳には土の埴輪ではなく、石像群が無数に並んでいた。私にはそれらが河姆渡の石像文明の名残にも見えるのである。

久留米市御井の近くにある祇園山古墳。土製のピラミッド。邪馬台国九州久留米説ではこれが卑弥呼の墓

磐井の乱主戦場、久留米市御井（上が東を向いた写真、下が西を向いた写真）

磐井が生前に造った巨大な前方後円墳、岩戸山古墳。あまりに大きく、後円部の側面しか撮影できない

知れば知るほど面白い日本古代史 連載

飛鳥・白鳳を謳歌した女傑たち

作家・日本史研究家　霧山文三郎

子育てエッセー 49

外的コントロールに気付くことが第一歩

METイノベーション国際推進機構 非認知能力推進アンバサダー　東口　るみ

私たちは毎日、誰かと関わりながら暮らしています。子ども、配偶者、友人、同僚…その相手が誰であれ「また怒ってしまった」「言い方、きつかったかな」と、自分を責めてしまったり、信頼関係に小さな歪みが生まれてしまったりすることがあります。

でも、その瞬間の奥には必ず、こういう気持ちがあります。

「この人を助けたい」「うまくいってほしい」「仲良しでいたい」「好きでいたい」など、怒りやイライラの裏側に、誰もが抱える優しさや愛があるのです。

選択理論心理学では、人との関わり方を「内的コントロール（愛の原理）」、自分の意識で選べる、やさしい関わり方を「外的コントロール（力の原理）」と呼びます。

無意識に「変えてやろう」と力で押す関わり方を2つに分けることができます。

ここで少し、自分の関わり方を振り返ってみましょう。チェックを入れるだけで、普段の自分の行動が見えてきます。

◆内的コントロール
- □傾聴する
- □支援する
- □励ます
- □尊重する
- □信頼する
- □受容する
- □意見の違いについて交渉する

◆外的コントロール
- □批判する
- □責める
- □文句を言う
- □ガミガミ言う
- □脅す
- □罰する
- □褒美で行動を釣ろうとする

完璧に内的コントロールだけを使う必要はありません。「今、外的コントロールを使っちゃったな」と気付くことが第一歩です。

気付いたら、そっと内的コントロールに切り替えるだけで、関係はぐっと穏やかになります。そして、自分にそっと問いかけてみてください。

「私は本当は、どんな自分でありたいのだろう？」「どんな人生を過ごしたいのだろう？」

脅したり文句を言ったりする人生なのか、それとも励ましたり信頼したりする人生なのか。この問いかけは、誰かのためではなく、自分自身の人生を豊かにするためのものです。

答えがすぐに出なくても構いません。問いかけるだけで、少しずつ自分らしさが育ちます。

その小さな積み重ねこそが、関係を豊かにし、心を静かに満たしてくれるのです。

歴史こぼれ話

ユダヤ教（3）

紀元前13世紀、「出エジプト」を果たしパレスチナに帰還したユダヤ人は、首都エルサレムを中心にヘブライ王国を建国。前11世紀から約100年間ダビデ王とソロモン王の治世が最も栄えた時代でした。そしてソロモン王の治世のとき、唯一神ヤハウェの神殿がエルサレムに建てられています。

しかし前922年頃、北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂し、さらに前586年さらにその北部から南下してきた新バビロニア王国に両国とも殲滅されてしまいました。

ところがこのとき、ユダヤ人のその後の境遇を決定づけるような出来事が起こります。これが前586年から約50年間続いた「バビロン捕囚」です。この事件以降ユダヤ人は世界を放浪し、国を持たない民族として差別・抑圧され続ける歴史が始まることになります。それゆえ彼らはユダヤ教徒としていっそう結束を深めていくことになりました。日本では縄文晩期の時代です。（K・N）

連載小説　其ノ参拾陸 36

悪党の風貌

2031 楠木正成 挙兵700年

作　池内文藏

題字　大東　守

「西園寺邸に奔ったのは、前の権大納言吉田定房卿です」

日野俊基が拘留されている牢舎に向かう回廊で仲時が囁く。ふたりになると、身分の差を越えて正成を兄の様に扱う。遡れば、彼の父基時（第十三代執権）と、正成の亡父正遠もそうだった。

京・伏見の楠木邸に入った正成は、平野将監重吉（八尾顕幸の義兄）を、かつて家人として仕えていた西園寺家に遣わしたが、ひと足先に普段は温厚な仲時が武威を以て俊基を六波羅探題の牢舎に移した。皇位継承を巡る持明院統と大覚寺統の直接取引を避けるためだが、胸の内では正成の来訪を待ち望んでいた。異母弟正家以下一党を伏見に留め、正成はひとりで来た。

「余が立ち会う」

番卒を下がらせ、自ら牢に入った仲時は、正成の半歩後に着座し、高烏帽子の頭を垂れた。

俊基がゆっくりと目を開く。

「いつ以来かの、多聞兵衛（正成）どの」

馴染とはいえ、京における鎌倉幕府の最高責任者たる六波羅探題北方（上席）北条仲時を憚り、他愛のない昔語りが続いた。

〝鴨新十郎〟の変名で正成の従者として鎌倉に潜入したくだりでは、仲時も声を立てて笑った。楠木正成二十歳、初めての鎌倉参勤。闘犬の場で土佐犬に組み敷かれ、万座の嘲笑を浴びる幼馴染の足利又太郎（高氏）を、躊躇することなく助けに飛び出す心優しい十歳の仲時がいた。

―殿―背後からの声で振り返ると、奉行衆の隅田次郎左衛門忠長が血走った眼で仲時に密談を乞うている。楠木と同じ北条得宗家被官で大和の地頭職でもあるかれとはつい先頃勃発した〝紀州の乱〟であわや同士討ちになるところだった。乱が未然に阻止された後、奉行衆を命じられ、正成に先んじて入洛していた。

仲時が席を外す。正成が膝を詰める。

「和泉か播磨、遠流としても伯耆で交渉致す。伯耆の船上山には亡き父の盟友名和長年どのが…」

「無用になされよ」

「このままでは、鎌倉に下されます。此度こそは…」

「六年前、余は死ぬ運命だったのじゃ。余の代わりに貴殿の兄俊親どのが斬られ、日野の殿（資朝）が佐渡に配流となった。六年存えた。もう十分じゃ」

「しかし…」

「正成どの、人にも旬というものがある。此度は長年にわたり、あの豪放な帝をお諫め続けて来た定房卿も我慢の限界に達したのじゃ、それに間もなく火の手が上がる」

「火の手…」

「うむ、叡山から、南都から、そして河内からも」

「…」

「余は、武士に生まれたかった。其方の兄上に憧れ武芸に励んだが、所詮は公家。じゃがな、非力な公家なりに諸国に撒き続けた火種が、間もなく燎原の炎となる。みておれ…山城、大和、河内、そして最後の火の手は、坂東」

狂ったかの様に嗤う俊基を番卒が制止するが、かれの眼差しは自信に満ち溢れていた。

それが、俊基との別れとなった。

半刻（一時間）後、六波羅在番者らに召集が掛かった。

―帝、御動座―

後醍醐天皇が動いた。物見の報せでは二つの輿がそれぞれ数十名の武士団に護衛され、一方は叡山、一方は南都の方面へ移動中とのことだ。

馬上の人となった仲時が一同に下知する。

「二手に別れ、それぞれ二百で追捕する。隅田次郎左衛門は余と共に叡山へ、楠木多聞兵衛は奈良へ、摂津衆、播磨衆は、左近将監どの（六波羅探題南方・北条時益）に従い都を護れ、いざ」

馬を並べて進みながら、仲時が、

「播磨の赤松は倅を尊雲法親王（護良親王）のもとに遣っている。叡山へは連れてゆけぬ」

「やはり、叡山に向かった輿に帝が」

「間違いない、多聞兵衛どの」

「正成と呼びなされ、兵が見ておる」

「来てくれて嬉しかった。この乱を鎮めたら、河内に…」

「お待ち申し上げる。桔梗も待っておる。あれの歌舞を皆で共に」

「うん」

屈託ない仲時の笑顔が松明に浮び上がる。仲時ともこれが別れとなった。

玉櫛の湊は、重々しい空気に包まれていた。出迎えた水走右馬允が、桔梗のみを船から降ろし、耳打ちした。

―勅使様が参っておる―

制止する右馬允の腕を潜り、主殿に走りながら桔梗は、兄正成と別れた〝桜井の駅〟で自分たち一座の船を速足で追い抜いた船団を思い返していた。階で控える郎党らを目で制して濡縁に上がり、僅かばかり引き戸を開ける。首座には詔を授けんとする勅使が立ち、数名の一門衆が低頭している。勅使は、大覚寺統の重鎮・中納言万里小路藤房である。

かれは、和歌を詠む様な雅やかな声音で恐るべき命を下した。

―楠木多聞兵衛正成、其の方直ちに兵を集め、河内国衙の守護代を討て、守護代の首級を挙げし後は、速やかに大和に兵を進め……

桔梗の全身を戦慄が走る。

―笠置へ―

転げる様に主殿から降りた桔梗は、湊に向かって走りながら、詔を受けた一門衆の高揚ぶりとその後の展開を想像した。正成に成りすまして詔を拝受したのは、異母弟正季とその臣・八木法達、そして同盟する八尾顕幸の三人で、日野俊基救出に都に向かった正成が〝一戦あったとき〟のためにこの館に入れておいた一門屈指の〝武闘派〟たちである。せめて雉丸（恩智左近）か、平野将監がいれば生命を懸けて阻止していたはずだ。

「大叔父上（右馬允）、しばし一座を一之宮（枚岡神社）で…」

と告げると、水走党の剣先船に飛び乗った。

―兄上、仲時どの…―

暮れかけた空に祈る。それぞれ軍を率いた二人が、叡山へ、奈良へと向かっていることを桔梗は知る由もなかった。

次々号（1月15日付）につづく

悪党の風貌

書楽 読楽帳 78

夢野悠人

蘭語から英語へ

江利川春雄著『英語と明治維新』（ちくま新書）の表紙

オランダとの貿易の始まりは1609年に長崎・平戸に開いた商館からでしたが、1641年にはオランダ商館を長崎の出島に移して、名目上鎖国となりました。

多様な異文化交流のなかでどのような言葉が使われていたのでしょうか。蘭学・蘭語について佐賀藩の優位性は佐賀藩領主・鍋島茂義（1800年～1863年）の存在があったからです。オランダ語（蘭学）を通じて学んだ西洋知識（砲術、冶金、医学、天文学、暦学、化学など）を〝モノづくりする力〟に発展させる才能があったのです。長崎に近いことから幕府より長崎の警備を命じられていたことで入港するオランダ船から蘭書を購入し、オランダ通詞（通訳官）との交流で蘭学を吸収しフル活用していました。

幕府の取り組みも真剣でした。国家安全保障の観点から1806年に幕府は長崎のオランダ通詞にフランス語の学習を命じています。もはや言語の鎖国状態では列強に対応できないと蘭語一極体制から多言語体制（英語、仏語、ドイツ語、フランス語、ロシア語など）へと転換。

19世紀に入ると北からロシア船が、東からアメリカ船が、南からイギリス船がそれぞれ来航し植民地支配（アメリカを除く）を虎視眈々と狙うのです。幕府は軍事面・技術面でフランスへの依存を強め、フランス語学校を開設し、将軍徳川慶喜はフランス語を学び、弟の徳川昭武をフランスに留学させるほどの傾倒ぶりでした。しかし、このフランスへの過度な依存ぶりが薩摩・長州のイギリスへの急接近をもたらせることになります。産業革命を起こしたイギリスに覇権が移行しているなかで、1862年に生麦事件（薩摩藩士がイギリス商人を斬殺）が起こり、1863年に下関戦争（長州藩が米仏船を砲撃、米仏軍艦が報復攻撃）。同年に薩英戦争（薩摩藩と英国が交戦。1864年に第2次下関戦争（長州と英米仏蘭連合軍の戦い）とトラブルが相次ぐことで競って英語を学び始めたのです。

江利川春雄著「英語と明治維新」（ちくま新書）によると、「明治維新で英語力を武器に活躍した代表格は伊藤博文」であり、「井上薫、大隈重信、木戸孝允、寺島宗則、福沢諭吉など多くの指導者が、幕末に英語を学び、欧米への留学・視察を経験した。こうして得られた語学力、広い視野、新たな世界観によって、彼らは西洋列強と対峙し、旧体制を打破し、近代国家を構想することができたといえよう」と指摘しています。

明治維新は言葉の革命だったことを忘れてはなりません。

社労士の社会的地位を高めたい

明日の有名人

社会保険労務士法人ゆうあいパートナーズ　代表　中森理恵さん

「大阪府レクチャラー」として各地で講話する大阪市倫理法人会副会長の中森理恵さん（47）＝写真＝は、苦難を乗り越え自らの道を切り拓く女性経営者の鑑だ。現在、社会保険労務士法人ゆうあいパートナーズ代表・特定社会保険労務士として活躍し、数多くの企業をサポートしている。

宮城県石巻市で生まれ、3歳のときに東大阪市へ。弥刀小学校、弥刀中学校、樟蔭高等学校で学び、関西外国語大学短期大学部英米語学科へ進む。卒業後はメーカーの受付に。結婚退職し、すぐに子宝に恵まれ2人の女の子を授かる。

長女を妊娠中、「子育てをサポートするから近くにおいで」と母親から声をかけられ、八尾市へ引っ越すことに。育児の負担が軽減され大助かり。

順風満帆だったが、離婚で人生が大きく変わる。仕事と家事に忙殺されるなか、このままではダメだと歯を食いしばり、手に職を付けようと、社労士の勉強を始めた。

無事に社労士の資格を取得。社労士法人で5年間勤務した後、2023年8月に独立。

失敗すると、子どもたちを路頭に迷わすことになるので悩んだが、大阪市倫理法人会の先輩に背中を押され決心した。

丁寧な仕事と朗らかな人柄で、徐々に仕事が増えていった。2025年8月には法人化。社労士の社会的地位を高めたいという志を掲げる中森さんは、ハッピーオーラに包まれている。

社会保険労務士法人ゆうあいパートナーズ
代表　中森理恵
大阪市中央区谷町4-5-9-603
TEL 06-6795-4337

時代を読む 話題の本

編集委員　石河亮平

新自由主義からのゲームチェンジ

世界秩序が変わるとき

文春新書　1、155円（税込み）

齋藤ジン 著

2025年の世界秩序を揺るがし、「お騒がせ賞」はトランプ米大統領である。

トランプ流の大幅な追加関税策は派手だった。連邦最高裁が関税の合憲性を審理している。もし違憲判決が出ると既に支払った関税の払い戻しで一悶着となり、「お騒がせ賞」のグランプリだ。

世界では米国のトランプ現象のほか欧州における極右やポピュリズム、米中対立、長期化するウクライナ戦争、イスラエル戦争などで緊張度は増すばかりだった。

これらは単発的にとらえがちだが共通の背景がある。つまり「新自由主義への反乱」だ。それぞれの現象を俯瞰的に手繰り寄せて主張する著者は「世界秩序が変わるとき」だと言う。

著者は「ヘッジファンドをはじめとするプロの資産運用者に助言をするコンサルタント」として巨額のマネーを動かす国際的な顧客へ定期的にレポートを提供している。この業界に30年のキャリアを持つ著者が「日本は今、数十年に一度の大きなチャンスを迎えているということ、この千載一遇のチャンスに取り残されないように取り残されないようにしてほしい」ので執筆したという。

内容は「日本復活の大チャンスが到来した」から始まり、「新自由主義とは何だったのか？」「私はいかにして新自由主義の申し子になったのか」『失われた30年』の本質」「中国は投資対象ではなくなった」「強い日本の復活」「新しい世界にどう備えるか」の6章立てはいずれも興味深い。

本原稿を書いている12月3日の各紙はOECD（経済協力開発機構）の「来年度の世界成長率2・9％　日本は0・9％、米関税で鈍化」と報じた。AI（人工知能）の普及による生産性アップ、高市早苗首相による政府の積極支援策、企業の新技術実装による収益向上などが期待される。

まさに上げ潮、日本再興への好機到来だ。

著者は「失われた30年」を「皮肉を込めて、問題は言うまでもなく、既存雇用を守るという社会的要請を忠実に果たした『誇るべき』成果だと指摘しました。それが経済成長を犠牲にするものであった点です」と説く。リストラを恥とするためゾンビ社員を温存したことが経済成長を阻害し「ゾンビ社員が退職するまで待った30年だと換言できます」とは覚醒ものだ。同じ轍を踏むまい。

戦後80年の節目に憲政史上初の女性首相・高市早苗氏は「強い日本」を目指す。政官民学の「オールジャパンチーム」でエネルギーを凝集させた成果を期待したい。ポジティブな書だ。

【著者紹介】

齋藤ジン（さいとう・じん）

在ワシントンの投資コンサルティング会社共同経営者。1993年に単身で渡米。ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院修士。投資関連コンサルティング業務を営む米国のG7グループを経て、2007年、オブザーバトリー・グループを米国で共同設立。ヘッジファンドを含むグローバルな機関投資家に対し、各国政府の経済政策分析に関するコンサルティングを提供。本書は初の著書。

日米カンファレンス2025

米国でも過剰繁殖による犬猫の悲惨な死が

パネルディスカッションでは活発に意見交換が行われた

Spay Vets Japan（橋本恵莉子代表理事）主催の日米カンファレンス2025が11月30日に大阪梅田スカイビル（大阪市北区大淀中1）で行われ、獣医師を中心に約80人が全国から集まった。スペシャリストとともに犬猫の福祉向上のための繁殖管理について考えるイベントで、昨年に続き2回目の開催。

今年は南カリフォルニア最大の非営利獣医療団体CAMPの代表、医療チームが来日し、ロサンゼルスの実情と活動の実際を紹介した。過剰繁殖による犬猫の悲惨な死を食い止めるには不妊去勢手術しかない。しかし、このことが社会的に認知されておらず、啓蒙活動に取り組んでいる。

この分野で進んでいる米国でさえもクリアしなければならない問題が山積しているという。日本はこれからだ。

AIとの共存 ③

不易流行

AI研究家　東浦　幸司

2020年代、生成AIの開発と利用が爆発的に広がっていったのはご承知のとおりです。そして、AIが実際には存在しない情報を、さも実在のものとして語る現象「ハルシネーション」の存在も認知されました。

この「ハルシネーション」はやっかいなものとされ、当時の人びとは、いかにAIが「嘘」を語らないようにするか、いかに人間が「正しい」情報を見分けるかに心血を注いだと言います。

ちょっと「ハルシネーション」について例を見てみましょうか。

例えば、当時のAIに「島根県出身の偉人を10人答えてください」と質問してみましょう。このAIは西周、小泉八雲、河井寛次郎、石本正、田中頼璋、津田青楓、大橋翠石、潮恵之輔、久徴丸、岡正雄」と出力しました。なぜか画家が多いのが気になりますが、さあ、この情報が正しいかどうか、皆さまも調べてください。

西周や河井寛次郎は有名ですよね。そして、皆さんもご存知でしょう。この情報はこの世界では間違っていますが「ハルシネーション」達しましたが、そのAIでさえ、「ハルシネーション」を起こしました。

しかし、皆さんはご存知のとおりです。

AIは、平行世界を観測し、そこに存在するAIが困難になっているのでしょうか。それよりも、無数にあった平行世界がどこか一点に向けて収束していると考えた方が良いのかもしれません。

その一点は、果たして希望のある一点なのでしょうか。たとえ破滅的であったとしても、この世界の代わりはもう存在しないのです。

AIに携わる時間が長くなるほど、私がAIに追い求めていた距離は遠ざかっていく。それは、効率という名の、いかにも私たちが目指すひとつの正しい道のり。言葉は確かに業務を助ける一方、失ってはならない何かがあるとの指摘。考えることを放棄し、気づかぬまま流され、変化ではなく無自覚な順応になるとき、戻ることは難しい。

ときに、もう後戻りできない道を歩いているのではないかとさえ思う。ここで俳諧の不易流行を思い出す。動かさない本質（不易）と、時代とともに変化する新しさ（流行）を調和させ、両方を大切にする考え方だ。手順は替えてよいが、最短の返答を急がない。

この言葉と、その言外の含みこそ（たとえば責任や敬意の感覚）、今を生きる私たちが意識し、守るべき譲れない核であり、これを失えば、共存ではなく依存へと傾く。

あなたは今日はどこで、その手を止めますか。

SF小説

世界に関する報告

SF作家　中森　臨時

AIの発展は、AIの存在は、AIの発展は、無限の可能性を見出しました。平行世界を観測し、そこに以前から指摘されていましたが、存在を証明することはできません。問題になると思いました。

2030年代には、生成AIがどれだけ発展し、存在が確認できませんでした。AIは、北海道開拓を行った人物と紹介していますが、それらしい島根県出身の人物はいません。これは「ハルシネーション」が発生することも謎でした。

一方、生成AIの知能は人間の測定が及ばないレベルに達しているのです。

ところが、先日から世界中のAIの精度が上がったと報告が上がっています。「ハルシネーション」を起こす頻度が明らかに減っているようです。

単に平行世界の観測と定義したのです。

AIは、平行世界を観測し、そこに存在しない情報を見出しました。平行世界間の干渉も時間の問題になると思いました。

2025年11月30日に大阪市北区大淀中1）で行われ、獣医師を中心に約80人が全国から集まった。スペシャリストとともに犬猫の福祉向上のための繁殖管理について考えるイベントで、昨年に続き2回目の開催。

今年は南カリフォルニア最大の非営利獣医療団体CAMPの代表、医療チームが来日し、ロサンゼルスの実情と活動の実際を紹介した。過剰繁殖による犬猫の悲惨な死を食い止めるには不妊去勢手術しかない。しかし、このことが社会的に認知されておらず、啓蒙活動に取り組んでいる。

この分野で進んでいる米国でさえもクリアしなければならない問題が山積しているという。日本はこれからだ。

丸山健二塾 塾生募集中
「書くこと」で自分の何かが変わる
いぬわし書房

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南6－2－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

ガザ地区食糧支援
一般財団法人日本国際飢餓対策機構

一日警察署長に

近畿警察官八尾地区友の会会長 楠本正行さん

年末にかけて増える犯罪や交通事故防止を防ぐため、大阪府内の各警察署で歳末警戒部隊が結成され、それぞれ発足式が開かれた。

八尾警察署（八尾市高町3－18）では12月1日に同署屋上で発足式が開かれた。近畿警察官八尾地区友の会の楠本正行会長（79）＝写真＝が「一日警察署長」を務め、部隊視閲と部隊点検を行った。楠本会長は10年にわたる長い期間会長職を務め、地域貢献に尽力している。

60人の隊員は気を引き締めて出発。

その後、警察犬の展示訓練が行われ、人間一つ犬ならではの活躍を披露した。

逆参観日で家族の絆深める

富士電子工業株式会社

紙おもちゃを作るワークショップ

恒例となった「逆参観日」が11月23日（勤労感謝の日）に富士電子工業株式会社（渡邊弘子社長、八尾市老原4－16）で行われた。お父さんやお母さんの働いているところを見学し、家族の絆を深める企画。

娘が働くところを見学する両親の姿もあった。親子で顔を合わせるとどちらも照れ臭そうにしていたが、ほのぼのとした親子愛が伝わってきた。

社内見学後は、紙おもちゃを作るワークショップが行われた。子どもたちがおもちゃ作りする様子を嬉しそうに眺めるお父さん、お母さん。子どもたちは大人になったとき、この日のことを懐かしむだろう。

第73回女性フェスティバル2025

すべての人がキラキラ輝く社会に

第73回女性フェスティバル2025が10月23日に八尾市文化会館プリズムホール・小ホール（八尾市光町2）で開かれた。八尾市女性団体連合会主催。

式典では八尾市民憲章唱和の後、角田禮子会長（写真）が「すべての人がキラキラ輝く社会にしましょう」と挨拶を行った。

令和7年度「女性フェスティバル賞」は、八尾市医師会会長として長年にわたり地域住民の健康・予防に大きく貢献した貴島秀樹氏に贈られた。

荘子と語る 六十五

大阪府立大学名誉教授
立命館大学教授
大形 徹

切り絵☆望月めぐみ

天下には、秋毫（秋に新たに生えてくる和毛）の毛先よりも大きなものはなく、（大きなはずの）太山（泰山）を小さいとする。殤子した者より長寿な者はなく、彭祖を夭とする。

天地は、我と一緒に生まれ、萬物は我と一つとなる。すでにすでに一となっている。

（郭象注＝形から対応させると、太山は秋毫よりも大きい。もし各おのその性により、物がその極致にいたれば、形が大きくても余りがあるほどではなく、形が小さくても足りないというわけではない。いやしくも各おのその性に足りているならば、秋毫もその小を小とせず、太山もその大を大とすることはない。もし性が足りているということで大とするならば、天下の足るは、秋毫より過ぎるものはなくなる。もし性が足りている者が大でなければ、太山であってもまた小と言うべきである。故に曰く、「天下に秋毫の末より大きなものはなく、太山を小さいとする」と。太山を小さいとすれば、天下に、大きなものはなく、秋毫を大きいとすれば、天下に小さなものはなくなる。…後略）

是に因るのみ

それなのに、なおかつ言が必要だろうか。すでにすでに一と言えば、なおかつ言がなくてもいいだろう。一と言とで二である。二と一とで三である。これからあとは、巧歴（数を数えるのに巧みな人）であっても得ることはできない。凡人であれば（できないことは）いうまでもない。ゆえに無から有に適きて三にいたる。有から有に適く場合はいうまでもない（数えられない）。（そうであれば）適かない方がよい。ただただ是に因るばかりである。

「荘子を読む」開講中

第15回 八尾地区 JAまつり

新鮮な野菜や花卉並ぶ

〝収穫の秋〟のイベントとして恒例の「八尾地区JAまつり」が11月29日に開催された。

爽やかな秋晴れの下、会場となった八尾小学校グラウンド（八尾市本町1－1－65）には、地元産の新鮮な野菜や花卉が並び、人気のお好み焼きや、〝八尾発祥〟のポン菓子を売る模擬店や、市民の安心安全を見守る白バイや消防自動車が展開。ステージ上では地元の高校生や八尾地区女性会によるパフォーマンスが繰り広げられた。

毎年提供される地元産の青首ダイコン。今年は特大サイズ2300本が用意され、1本50円で大売り出し。「おひとり様1本限定」の整理券を求めて、多くの市民が早朝から列を成した。

枝豆や若ごぼうで知られる八尾の野菜は、10月13日に閉幕した大阪・関西万博会場でも大好評。

主催したJA大阪中河内では、市役所ロビーでの定期販売や、農産物直営所・畑のつづき八尾店（八尾市山本町南7－13－22）を通じて地産地消を進めるとともに、都市に程近い通勤至便な立地をPRし、就農希望者を呼び込む取り組みを進めている。（三谷真一）

JAグループ 畑のつづき 八尾店

とれたての特大サイズ青首大根が人気だった

八尾は米粉の聖地

巡礼ツアー開催

「八尾は米粉の聖地」と題した巡礼ツアーが11月9日と10日に行われた。「八尾は米粉の聖地実行委員会」が主催。

近鉄八尾駅・JR八尾駅で「巡礼バス」に乗り、米粉パン・米粉菓子を提供するカフェやショップを回るツアー。米粉ファンが全国から集まった。

記者は10日に同行。「こんなにも米粉の店があったんだ」と驚く。古い長屋をおしゃれにリフォームしてカフェにしたり、蔵をショップにしたりと様々な工夫がこらされている。

ツアーの最後には、仕掛け人である株式会社西村機械製作所（八尾市松山町2－6－9）の西村元樹社長（52）が登場。ツアー参加のお礼を述べた上、米粉の魅力を広く伝えていきたいと意気込みを見せた。

米粉ショップで説明を聞く参加者

折り紙和紙ランプをつくろう！

有限会社 丹陽社がワークショップ

自然素材にこだわった「健康住宅」を提供する一級建築士事務所、有限会社丹陽社（岡巌社長）が、11月16日に同社（大阪市天王寺区上本町5－4－17－904）でワークショップ「折り紙和紙ランプをつくろう！」を行った。

社員の北山樹さん（33）＝写真右＝が3Dプリンターなどを使って材料をすべて用意し、参加者を迎えた。

2組のカップルが参加し、和気藹々とした雰囲気のなか作業を行った。部屋の電気を消し出来上がったランプを灯すと、その柔らかい光に参加者はうっとりとなった。

第7回 ウエルネスダーツ

中河内市民交流大会

100人が集い楽しむ

各地で広がりつつあるウエルネスダーツ。フレイルの予防・改善で認知症・介護予防ができると注目されている。2023年度日本郵便年賀寄付金事業となった。

八尾市では、元八尾市議会議員の畑中一成氏（66）が会長を務める八尾ウエルネスダーツ協会が普及に取り組んでいる。11月16日、八尾市立山本コミュニティセンター（八尾市山本町1）で第7回ウエルネスダーツ中河内市民交流大会が開かれた。約100人が集まり、おしゃべりしながらダーツを楽しんだ。

ダーツを楽しむ高齢者を見守る畑中一成氏（左）

大声でつぶやく 49

けったいな町医者

作家・医学博士 長尾和宏

遺言ならば、公証役場で自筆で書いておかなと。言うだけじゃ、ダメ、ダメ。

イチロー氏は次のように言って笑わせた。

「僕はコンプレックスの塊ですから。（自分の）顔面、大嫌いですし、明日の朝起きたら、ディーンさんの顔になっていたいですよ。だけど、無理だから、受け入れて生きていかなきゃしょうがないし、まだ今、元気だからね、何となく緊張感を保てるんだけど、これ死んだとき、もうそれはできないよなって。

うつぶせで棺に

死んでるから当たり前なんだけど。棺の窓から顔を見られるのは嫌だなって。だって、あのイチロー氏が遺言を言った。うつぶせで棺に入れて欲しいと。その要望、よく分かる。

遺体にも尊厳がある。「死に顔」も個人情報なので晒したくない、と言う人もいる。ならば、まさに「遺言」コントロールできないから。だったら、棺の中はうつぶせにしてくれって。後頭部を見せたいです。っていうのは今ここで僕の遺言として、みなさんと共有します」

他人に自分の死に顔を見られたくない。その気持ちはよく分かる。

リビングウィルは、15年前に書いたけどね。遺言なんて必要ない。と言いながら、遺言はまだ書いていない。

「そんなもんどうでもええわ」と思う人は書いておけば遺言とみなされるはず。

「そんなもんどうでもええわ」と思う人は遺言なんて必要ない。

遺言といえば、お金のことだけではない。死後の要望は、書面で残しておけば遺言とみなされるはず。

長尾和宏オフィシャルサイト

キララ 感謝パーティー

11回目迎える

「真の健康と美しさ」の提供を通じすべての女性の生き方を応援するエステサロン「キララ」（八尾市光南町2－2－39）の感謝パーティーが、11月8日にシェラトン都ホテル大阪（大阪市天王寺区上本町6）で開かれ約50人が集った。

11回目の感謝パーティーを迎えた村松真代代表（54）＝写真＝は感無量で胸がいっぱいになりながらも、深くお礼の言葉を述べた。

連載小説

ウクライナを歩く ―― 282

小野元裕

熱々のコーヒーで慰める

オリガが疲れた面持ちで帰ってきた。

毎夜繰り返されるロシアの猛攻撃に、軍司令部は頭を悩ませているようだ。それに加え、国営原子力企業を巡る政府高官の汚職疑惑が広がり、ゼレンスキー大統領の右腕であるアンドリー・イェルマーク大統領長官が解任に追い込まれた。「ウクライナの真の支配者」などと称されていた人物だけあり、ウクライナ軍内でも大きな波紋へと発展している。

夫から伝えられたであろう近況を一気に話すと、彼女はぐったりとして座り込んだ。

ナタリアは優しくハグし、オリガを慰める。

こういう慰め方は日本人にはできないなとぼんやり眺めていると、ナタリアはこちらに目配せする。コーヒーを淹れるから、その間オリガを慰めるようにという指示だ。

オリガとナタリアの顔を交互に見る。

安心したナタリアは得意げな表情を浮かべ、私に小さくウインクした。

この状況があまりにも微笑ましくて、思わずナタリアをきつくハグした。

大きく頷き、今度は私が静かにハグをする。いつもはごく普通にハグするのだが、こういうときのハグは難しい。どういうハグが慰めになるのだろうかと考えていると、なんだかぎこちなくなる。百足がどの足から出ようかと考え出し、結局歩けなくなったという寓話が頭をよぎる。

それでも、ハグしているうち少し落ち着きを見せた。

ナタリアは珍しく熱々のコーヒーをオリガに差し出す。ウクライナ人の多くは猫舌なので、熱々の飲み物は苦手だ。少し冷めているぐらいがちょうどいい。あえて熱々のコーヒーを淹れたのは、ナタリアの作戦だった。

オリガは息を何度も吹きかけながらコーヒーを少しずつ冷ます。そうしているうちに息が整い、冷静さを取り戻してきた。

さすが長年の付き合いだ。感心しながらオリガとナタリアの顔を交互に見る。

新春！ 王楽改め七代目 三遊亭円楽 × 笑福亭笑助 二人会
日程 2026年1月18日(日)
会場 プリズムホール（八尾市文化会館）小ホール
チケット【全席指定】 前売り ¥3,000 ／ 当日 ¥3,500
プリズムクラブ（友の会）¥2,700
障がいのある方とその介添えの方、1名様まで ¥2,500
PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求めお問い合わせ
プリズムホールチケットカウンター ☎ 072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット http://prismhall.jp/
※12歳以下は保護者同伴でお願いします　※車椅子でお越しの方は事前にご連絡をお願いします

募集要項（居酒屋）
月給 25万円～40万円 ※時間外手当別途支給
時間 9:00～22:00 ※内8時間労働！
募集人数 10人
ボーナス 有
待遇 交通費・制服支給
募集要項（京和食）
月給 25万円～
経験者 年収500万円弱
時間 8:00～22:00 ※内8～10時間労働！
ボーナス 無（制度作成中）
待遇 交通費・制服支給
未経験者大歓迎！ 飲食 社員 大募集
非公開の新規企業様増加中！
会社概要
株式会社ギャップコーポレーション
〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-5-6 梅田旭ビル5階
人材紹介事業部
※お仕事見つかった方には5000円分のプレゼントも用意しております。是非相談に来て下さい！
お問い合わせはお電話からでも！ ☎ 090-9168-4910
飲食 Scout LINE 問い合わせこちら

あ 朝陽は堺東から
さ 爽やか笑顔で
ひ 1人ひとりの幸せ願う
不動産仲介　不動産コンサルティング　不動産管理
笑顔 感謝 朝陽不動産株式会社
☎072-224-2345
〒590-0022 堺市堺区中三国ケ丘町1-1-30
営業時間：9:00～17:30
定休日：土曜・日曜・祝日
https://asahi.estate/